

エリアウェブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: aruga-asyk@pref.yamanashi.lg.jp

「人の世の三智」

峡東教育事務所 副所長 望月 栄一

「三智」。私が初めてこの言葉を耳にしたのは、まだ御坂西小に勤務していた20代の頃でした。御坂町の教職員が一堂に会する新年互礼会の席上、教育委員長が挨拶で引用された言葉でした。以来、この言葉は、心に残る言葉の一つとなっています。

これは、文豪島崎藤村の言葉です。彼の出身地である長野県の大桑中学校には「人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、みづからの体験によって得る智がそれである。」という一文が刻まれた石碑が建てられています。

「智」とは、「物事を理解する能力」(大辞泉)です。藤村は獲得するスタイルにより、「智」を次のような三つに分類しています。

- 一つ目は、本を読んだり話を聞いたりして得る智。
- 二つ目は、他人との交流を通して、人から得る智。
- 三つ目は、実際に体験して得る智。

自ら学ぼうとする姿勢をもち、いろいろな人々と関係をもつことができれば、人として生きる「智」が磨かれていくに違いないと思います。さらに、自ら体験を通して得た「智」により、本物の「智」が構築されていくものではないかと思えます。

しかし、今日、残念ながらうまく人との関係が築けなかったり、体験が乏しいため首尾良く課題に対処できなかつたりするなど、智が生かせない状況にあるのではないのでしょうか。

藤村のこの文は、さらに「さういふ自分は今日に行き詰まってゐるばかりでなく、出発のそもそもからすでに行き詰まっていた。でも、歩いて出るたびに道が開けた。地に触れるたびに生き返った。」と続きます。私たちは、人との関わりに悩んだり、努力しても失敗

してしまったりします。しかし、人との出会いにより人生が変わったり、自らの体験により感動を得たりすることがあります。そういうさまざまな経験を通して、人は「智」を得ていくものではないでしょうか。だからこそ、新たな道を求め、自ら行動することが大切だと思います。

グローバル化が進行する社会にあって、この「三智」はますます重要になってくるのではないのでしょうか。とりわけ、今日的な学力の向上を目指す上で、子どもたちにこの「三智」を身につけさせることは極めて大切だと思います。本を読んだり、話を聞いたり、調べたりする「自ら学んでいく力」、学級や係活動などの集団生活を通して得る「人と関わる力」、練習や訓練など実際に自ら体験を通して得る「学びを自覚する力」は、まさに「生きる力」のベースとなり得るからです。

学校教育のみならず、人が人として生きていくためには、生涯に渡って学び続けることが大切だと思います。その意味で、この「三智」は、今の世を生き抜くための学びの基本となるものだと考えます。私自身もこの「三智」の言葉をしっかりとかみしめ、学びを高めていきたいと思えます。

私にとって「三智」は、30年経った今も大切にしたい言葉の一つです。



笛吹市芦川町 すずらん

子育て講演会

峡東地域教育推進連絡協議会主催

テーマ 「子どもは誰が育てる？」

～親・家族・保育所（園）・幼稚園・学校・行政そして地域の愛～

- 1 期 日 平成26年 6月24日（火） 14時30分から
- 2 場 所 山梨市民会館 ちどりの間（3F）
- 3 講 師 山梨県立大学人間福祉学部保育学講師 新藤 京子 氏



峡東地域教育推進連絡協議会主催で子育て講演会を開催します。講師は山梨県立大学人間福祉学部保育学講師・元山梨県福祉保健部保健監の新藤京子先生です。新藤先生は、長年にわたって県の保健師教育に尽力するとともに、母子保健の立場から生命と子どもを育むことの大切さを説く「生命の授業」の講演活動を続けています。また、母子愛育活動などの支援を通じて次世代育成や少子化対策にも精力的に取り組んでいます。どうぞお誘い合わせの上、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

13:30	14:00	14:30	16:10	16:20
峡地連総会	受付	子育て講演会		閉会行事

ことぶき勸学院入学式・開講式

山梨ことぶき勸学院峡東教室

平成26年度山梨ことぶき勸学院の入学式が4月15日（火）にコラニー文化ホールで行われ、峡東教室には26名の新入生が入学しました。峡東教室では2学年の開講式が4月22日（火）に、1学年の開講式が4月25日（金）に行われ、今年度初めての授業を受けました。



1年生開講式



平成26年度勸学院入学式



2年生開講式

おもちゃの病院

笛吹市子育て支援センター

壊れてしまったおもちゃでも、少し直せばまだ使えると思ったことはありませんか。

おもちゃの病院「紙ひこうき」では、壊れたおもちゃの診断・修理をしています。ボランティア活動なので基本的には無料です。

（材料費は実費）

毎月、子育て支援センター（わかば・きっずみさか・ゆうゆうゆう・きっずいちのみや・きっずやつしろ・きっずいさわ等）を巡回して診療をしています。

詳しくは、子育て支援センターに問い合わせるか、笛吹市広報4月号をご覧ください。



（担当ドクター 葭沢一正先生）

峡東地域県立学校 学校説明会・オープンスクール等の日程

来春進学を控えた中学3年生を対象にした各校の行事です。地域の学校を知る機会としてご活用ください。詳細は各校のホームページなどでご確認ください。

	行事	日時	会場
笛吹高校	学校説明会	8月30日(土)	笛吹高校
日川高校	前期入試説明会(保護者・中学生対象)	6月28日(土) 10:00~	日川高校
	オープンスクール	8月30日(土) 8:30~	日川高校
山梨高校	学校説明会	7月19日(土) 9:30~	山梨高校
	体験授業	8月30日(土)	山梨高校
塩山高校	第1回学校説明会	8月17日(日) PM	山梨市花かげホール
	中学生一日体験入学	9月27日(土) 9:00~	塩山高校
	第2回学校説明会	11月8日(土) 9:00~	塩山高校
ろう学校	「学校公開」及び「きこえとことばの相談会」	6月9日(月) 9:00~	ろう学校

ひとり語り

常泉寺 寺子屋 『武士原塾』

甲州市三日市場の常泉寺を会場に地域の住民を集めて開かれる寺子屋「武士原塾」において、5月3日(土)に『秋元紀子のひとり語り』が開催されました。地域の親子や高齢者が30名ほど集まり、秋元紀子さんのひとり語り聞き入っていました。今、地域のコミュニティとしての役割が重視されるなかで、子どもから高齢者までが自由に参加できる朗読会や読み聞かせの会、講演会等が各地域で開催されています。各市の広報に掲載されていますので、皆さんも参加してみたいかたがでしょう。



親子さんでの参加



秋元 紀子さんのひとり語り



子どもさんの参加の様子

家読推進運動

山梨県教育委員会 「しなやかな心の育成プロジェクト」

山梨県教育委員会では、子どもたちが自分や他者の生き方・存在を互いに認め合い、自他を敬愛する心を育てる「しなやかな心の育成プロジェクト」を推進しています。

【心をはぐくむ「あいうえお」】

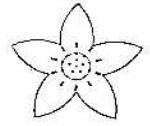
- あ ありがとう ごめんなさい 素直な心育てます
- い 一緒に読書 家族の会話もはずみます
- う うちの子もその子も同じ気持ちで叱ります
- え 笑顔で声かけ 元気にあいさつ 地域に広がる思いやり
- お 教えます いけないことはいけないと



この一環として、読書をきっかけに家族のコミュニケーションを深める「家読推進運動」に取り組み、毎月第一日曜日「家庭の日」と第三日曜日「青少年を育む日」を家読の日として呼びかけています。



山梨県立ろう学校



本校は幼稚部・小学部・中学部・高等部の4つの学部と支援教育部からなる、県下で唯一の聴覚障害教育専門の学校です。支援教育部では、早期教育と通級による指導及び教育相談を行っています。また、異年齢の仲間との集団生活を通して様々な経験ができる寄宿舎もあります。今回は、先日行われた高等部の進路学習会の様子をお知らせします。

第1回進路学習会

5月16日(金)高等部の生徒を対象とした進路学習会を行いました。本校高等部からの進路希望先は県内外の大学または短期大学やろう学校の専攻科、就職などと様々であるため、多様な生徒・保護者からのニーズに応えられるように年間3回の進路学習会を計画しています。今回は大阪にある“シャープ特選工業株式会社”よりご自身も聴覚に障害のある講師をお招きして『障がいがありながら働くこと』というテーマのもと、ワークショップも交えながら講演をしていただきました。

講演の中では、

障がいを持つ方の会社での一日
メーカーの仕事内容
仕事を行う上で工夫すること
学生と社会人の違い
社会に出て働くということ



この5本の柱を中心に、生徒達に分かりやすいように視覚情報を多く用いながら、お話していただきました。“メーカーの仕事内容”では、実際にシャープ特選工業で行っている、箱に部品を入れる梱包作業を2つのチームに分かれて体験させていただきました。一見簡単そうに見える作業でしたが、品質、効率を意識しながらチーム内で工夫することは難しく、グループ内でのコミュニケーションの大切さを確認できました。

学習会を通して将来自分たちが社会に出たときにどんなことを工夫すれば良いか、周りの方々にどんな配慮をお願いすれば良いか、社会に出るまでにどのような力をつけていけば良いか・・・様々なことを考え学ぶことができました。

【生徒の感想】

話を聞いていて知らないことがいっぱいあった。『社会的責任』について学べた。

小学部では日記を書いていたが今はしていない。講師の方は毎日、本を読んでいると聞き、日記をつけるのを始めようと思う。

役割を決めて梱包作業をしたが、なかなか早く進まなかった。

特例子会社について学べて良かった。

